

先週のマーケット動向(7月24日~7月28日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,288.0	1,288.8	1,267.4	1,277.1	▲6.4
JPY/KRW	9.0903	9.2573	9.0124	9.1519	+0.003
KOSPI	2,608.47	2,646.71	2,580.98	2,608.32	▲1.44

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上値の重い推移。週初のドル/ウォンは1,288.0ウォンでオープン。その後1,288.8ウォンの高値をつけた後は月末に関連した輸出企業のドル売りが優勢となり、下落基調で推移。25日朝方は海外勢が韓国株式を売り越したことでウォン安となるも、その後人民元が上昇したことで、ドル/ウォンは下落に転じた。26日は夜間にFOMCを控え様子見ムードから小動きだった。27日はFOMCの予想通りの結果を受け、米金利が低下したことで、ドル/ウォンは下落し、1,267.4ウォンの週安値をつけた。しかし、午後にかけて安値圏で買戻しが入り1,270ウォン台まで戻した。28日は日銀会合への警戒感がドル/ウォン相場にも波及し、1,284ウォン付近でオープンも会合前後からじりじりとドル/ウォンは下落し、前週末比▲6.4ウォン下落した1,277.1ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は週初上値重い推移の後、後半にかけて戻す展開を想定。先週の中銀ウィークは概ね無難に通過。週末の米PCEデフレーター等指標からインフレ減速を確認。市場は米経済の先行きへ楽観的な見方を維持している。かかる状況下、週初は韓国株式市場への資金流入も期待されドル/ウォンは上値重く推移しよう。一方で、今週は米主要経済指標の発表を控えることや夏休みムードもあり、週後半にかけては調整が進みドル/ウォンは下げ幅を戻し、結局はレンジ推移となる展開を想定。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1260 ~ 1290	8.90 ~ 9.20	139.5 ~ 142.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 31日(月) 日 6月 鉱工業指数 速報値
中 7月 製造業PMI
中 7月 非製造業PMI
欧 2Q GDP 速報値
- 1日(火) 米 7月 製造業PMI 確報値
欧 7月 製造業PMI 確報値
日 6月 失業率
米 7月 ISM製造業景況指数
- 2日(水) 韓 7月 CPI
米 7月 ADP雇用統計
- 3日(木) 欧 7月 サービス業PMI 確報値
米 7月 サービス業PMI 確報値
米 7月 失業保険新規申請者数
米 6月 耐久財受注 確報値
中 7月 総合PMI
中 7月 サービス業PMI
米 6月 製造業受注
米 7月 ISM非製造業景況指数
- 4日(金) 米 7月 非農業部門雇用者数
米 7月 失業率